

エネルギー環境

教育のひろば



北海道エネルギー環境教育研究委員会
 会組織広報部会
 2004.8.30
 創刊号 発行

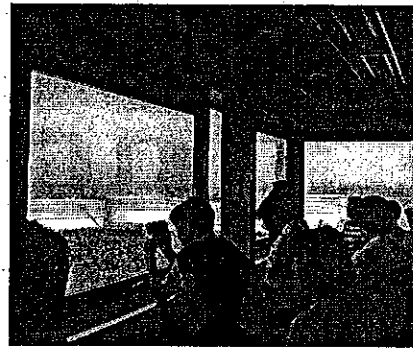
エネルギーの現状を視察

七月二六日「札幌市リサイクル団はラベルがそのまま、中を洗地」と「JRタワーコーポレーション」見学をエネルギー環境情報センターと協力して開催しました。定員の四十名を大幅に越える五十名の参加があり、2つに分けてで見学をしました。多くの皆さんのエネルギー環境教育への関心の高さが伺える見学会となりました。特にリサイクルセンターのペットボトル等の処理で



の悪さに驚きました。

七月二七日はエネルギー環境教育研究フォーラム in 北海道と協力して苫東厚真発電所と国家石油備蓄基地を視察しました。



組織改革

組織発足3年目をむかえ、「事業部会」を「組織広報部会」に改称、組織拡大をねらっています。また、「企画部会」では授業カリキュラムの検討と編成、「調査部会」ではエネルギー環境教育関連施設のマップ作りについて今年度着手しています。来年2月のシンポジウム発表目指して各部会とも活動をすすめています。

総合的な学習の時間で悩んでいませんか？

本研究会は「エネルギー環境教育」に関する学校への支援を行っています

- ・ 施設の紹介
- ・ 講師の派遣
- ・ などのコーディネートや授業支援を行っています。

費用もかかりません。
 ご希望の方はお気軽に「北海道エネルギー環境教育研究委員会事務局」まで連絡ください。連絡先は左下の通りです。

六ヶ所村視察



八月二日から四日まで青森県六ヶ所村の原子燃料サイクル施設、東通原子力発電所、三内丸山遺跡を二五名で視察しました。六ヶ所村の膨大な広さの施設に圧倒されるとともに日本のエネルギー問題の深刻さを感じました。

本会は平成十四年二月にエネルギー環境教育推進を図るために立ち上げた、まだ、三年目の新しい研究会である。

豊かな未来を築く子供たちを育成したい
 委員長 鳥居 正年

構築をしたい。それはエネルギー環境教育を通しての、将来を担う「人づくり」をしたいからである。社会が変化しても、心豊かに生き抜く力を持った生徒の育成である。将来にわたって我々、大人が子供に夢ある世界へ

幼稚園から大学まで、また、理科・社会・技術家庭・道徳・総合学習等各教科を横断する先生方が集まった組織で、会員は約百名を要している。使命は熱いものがある。

二十一世紀のエネルギーと社会に関する総合的な学習の教育ネットワークの

導いていく責任がある。そのためにもエネルギー問題の解決と生活環境の向上が最も重要な事項の一つであると思われるのである。

今後の予定

- 十一月六・七日 道内視察研修会 (後日ご案内予定)
- 十一月 勉強会 (後日ご案内予定)
- 一月 道外視察研修会 (関係者のみ)
- 二月 シンポジウム *皆様是非ご参加ください。

北海道エネルギー環境教育研究委員会

連絡先 北海道エナジートーク21

北1条西5丁目 北1条三井ビル2F

ホームページアドレス <http://www.enetalk21.gr.jp>

TEL-011(251)9710, FAX-011(251)3974